

### 3歳児きりん組 「桃ラッシー作り」

令和7年7月31日(木)



#### ねらい

毎日うだるような暑さの中、ひんやり冷たいものを食べたい。という子ども達のリクエストに応じて、夏の果物、桃を使ってクッキングをしました。夏の果物を身近に感じ、果物の旬の時期を知ることをねらいとしました。

#### 環境設定

##### 準備物

(子ども) エプロン、三角巾

桃2個、まな板、包丁、透明カップ15個、スプーン15本、すりこ木棒5本、ヨーグルト、牛乳、砂糖、レモン汁、バット、太いストロー、ボール、泡だて器

#### 子どもの活動

栄養士が、準備物を用意し、子ども達に桃を見せて、「何でしょう」と聞きました。桃が少し赤かったので、「リンゴ」という声がありました。「桃」という声があり、先生が、「そうです。桃です。」と言い、子ども達一人一人に桃を触って、においを嗅げるように、桃を子ども達に渡しました。栄養士が、桃の皮をむき、8等分に切る間に、担任が、ヨーグルトをボールに入れ、次に子ども達がそこへ牛乳を注ぎ、砂糖とレモン汁を入れて、泡だて器で混ぜました。透明カップに桃1/8を入れ、スプーンで細かくしました。すりこ木棒でつぶす子どももいました。ある程度潰れたら、ヨーグルトミックスをカップに注ぎ入れて、ストローで混ぜて飲みました。

#### 子どもの様子

桃のにおいを嗅いだり、触ったりして桃を知りました。子ども達は、「いいにおい」「甘い匂い」と言ってこれから作るジュースを楽しみにしている様子でした。また、ヨーグルトミックスを作る時に、牛乳を自分でヨーグルトに注いだり、混ぜたりしてクッキングに参加することで、ワクワクした気持ちが大きくなってきました。お友達がミックス液を混ぜていると、「僕もやりたい」という声があちこちから聞こえてきました。また、桃をカップの中で細かくする場面では、みんな集中して取り組んでいたため、おしゃべりする声もなく、ジュースがたくさん出るように細かくすることができていまし

た。桃にミックス液を入れて飲んでみると、「おいしい」というニコニコ顔がたくさん見られました。美味しくできたラッシーをお代わりする姿もありました。

#### 活動の振り返り

生の桃に触ったり、においを嗅いだり、桃だけで、まず食べてみても良かったと思えました。子ども達は、自分で混ぜたり、桃をつぶしたり、いろいろやってみたくて仕方がない様子でした。時間も、テンポも3歳児の興味の続く早さで丁度良かったと思えました。旬の食べ物に興味を持ってほしいと思えました。

